

かがやき

海田西小学校
通級指導教室だより No. 6
令和5年5月24日(水)

認知機能強化トレーニング『コグトレ』オンライン

昨年度から海田町では、通級指導を受けている児童のタブレットに、認知機能強化トレーニング『コグトレ』(Cognitive Enhancement Training)を入れています。

これは、ご存知の方も多いかと思いますが、「境界知能とグレーゾーンの子どもたち」「ケーキの切れない非行少年たち」の著者 宮口幸治先生(児童精神科医)が東京書籍と共に開発されたものです。

かがやき教室では、以前から『コグトレ』をトレーニングに組み込んで学習してきましたが、昨年度からはオンラインも毎回活用しています。



以前、宮口先生の研修会で、知的障害や発達障害の診断がついていない境界性精神遅滞(かつては知的障害と認定されていた IQ70~85)の子ども達を取りこぼされているというお話を聞きました。

その子達には、下記のような特徴があるそうです。

【困っている子どもの特徴】

① 認知機能の弱さ

(見る力・聞く力・見えないものを想像する力が弱い。)

→指示通りに動くのが苦手。

見落としが多い。

被害者的に捉えることがある。

目標が定められず、努力するのが難しい。

② 感情統制の弱さ

(自分の心の中で何が起きているのか分からない。)

→感情の言語化が苦手。

カッとなるとすぐに手が出る。

ストレスを一人で抱え込む。

③ 融通の利かなさ

(より多くの選択肢がもてず、問題解決力が弱い。)

→何も考えずに思いつきでやっているように見える。

予想外のことに弱い。

一つのことを考えると、周りが見えなくなる。

④ 不適切な自己認知

(自分を正しく評価できない。)

→自分の良いところ・問題点が分からない。

他の人からどう思われているか分からない。

どんな人になりたいかイメージがわからない。

⑤ 対人スキルの乏しさ

(適切な対人認知ができない。会話についていけない。)

→流されやすい。

冗談が通じにくい。

悪いことに利用されやすい。

⑥ 不器用さ

(自分の体の動きが予測できない。)

→手先が不器用。

運動が苦手。

物をよく壊す。

力加減が苦手。

かがやき教室では、支援が必要な子ども達を取りこぼさないために、また困っていることを少しでも改善するための一つ的手段として、コグトレを取り入れています。

自宅にタブレットを持ち帰った際には、ぜひご覧になって、お子さんと一緒に体験してみてください。(大人でも楽しんでできる内容になっています。)